

新春、まるごと!

大 嗟 峨 大 念 佛 狂 言

国指定重要無形民俗文化財



嗟峨大念佛狂言保存会 結成50周年



令和7年(2025年)

1.11 土

13:00~15:30

開場 12:30

京都市右京ふれあい文化会館
ホール

PROGRAM

1. 基本所作の体験
嗟峨狂言クラブ(子ども狂言)による模範演技あり
定員15名(会館窓口または電話での事前申し込み制)
2. 演目 『**釈迦如来**』
3. 講演 『**嗟峨大念佛狂言の魅力とその活動**』
天理大学国際学部 日本学科(留学生対象) 専任講師 長谷川 奨悟
4. 演目 『**土蜘蛛**』

終演後に、嗟峨大念佛狂言保存会による**面付け体験**

希望者10~15名

※新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染状況を考慮し、中止する場合がございます。

料金 前売券 1,000円 / 当日券 1,300円

※当日券は、前売りで残券があった場合のみ販売いたします。

※当会館での販売時間は発売開始初日のみ午前10時からです。
10/3(木)からは午前9時から午後5時までとなります。

10月2日(水) 午前10時 発売開始

チケットのお申し込み Apply for a ticket

- 京都市右京ふれあい文化会館 075-822-3349 9時~17時/毎週火曜日休館(休日の場合は翌平日)
- 京都コンサートホール 075-711-3231 10時~17時/第1・第3月曜日休館(休日の場合は翌平日)
- ロームシアター京都 075-746-3201 10時~17時/年中無休(臨時休館日を除く)
- オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録(無料)

オンラインチケット
予約はこちらから



※右京ふれあい文化会館では、直接ご来館いただくか、お電話でお申込み後1週間以内にお支払い、チケットの受取りになります。
※京都コンサートホール、ロームシアター京都でご予約の場合は、①それぞれのチケットカウンターでのお支払い、チケットの受取り、
②セブンイレブンでのお支払い、チケットの受取り(手数料が必要です。)、③郵便局でのお申込み、チケットの郵送(郵送料等が必要)が可能です。

新春、まるごと！嵯峨大念佛狂言。

Saga Dainenbutsu Kyogen
New Year Performance

右京ふれあい文化会館では、地域に継承される伝統芸能等を市民のみなさまにご紹介する事業に取り組んでおります。今回は「嵯峨大念佛狂言」に大きくスポットをあて、新春を寿ぎ、華やかに公演を開催して参ります。

奇しくも令和7年は、「嵯峨大念佛狂言保存会」結成50年の節目の年にあたります。この機会に保存会の取組みを詳しくご紹介しながら、「釈迦如来」「土蜘蛛」をご覧いただくほか、保存会と嵯峨狂言クラブによる狂言の所作体験や面付体験など豊富な内容をご用意しております。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

嵯峨大念佛狂言とは

京都市の西、嵯峨釈迦堂の名で親しまれている古刹・清涼寺の境内で執り行われる民俗芸能です。すべての役者が面を着け、セリフがなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があり、現在は約二十番の演目が残されています。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念仏をひろめた円覚上人導御の創始とされています。資料から見ても、嵯峨大念佛狂言には室町時代(享祿2(1529)年)の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛(キヒヤウエ)の刻銘を持つ女面《深井》や、和宮降嫁の際に宮中の女官としてその説得にあたった高野房子の菩提を弔うために奉納された装束など、美術史的にも宗教的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。昭和61(1986)年には国の重要無形民俗文化財に指定されました。

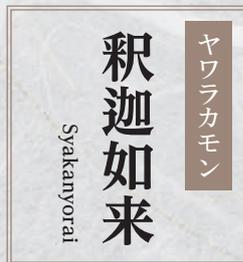
演目は能楽的なカタモンと狂言仕立てのコミカルな要素を持ったヤワラカモンに分けられ、なかでも『釈迦如来』は嵯峨狂言のみの演目として注目されています。また『愛宕詣』は、嵯峨狂言堂舞台から西北にそびえる愛宕山を眺めながら演じる嵯峨狂言ならではの演目といえます。狂言堂のある清涼寺を舞台とした『百萬』も令和5(2023)年に17年振りに披露するなど、演目の復活や若手育成にも力をいれています。

現在の嵯峨狂言堂は、平成27(2015)年の雨漏りが契機となり、各方面に修復の相談をしたことが始まりで、文化庁、京都府、京都市の助成を受けながら同年11月に修復工事が開始され、平成30(2018)年9月末に落慶の運びとなりました。

最近の活動では、昭和期に録画保存された映像をデジタル化し後世へ残す取り組みを行っています。令和3(2021)年には、傷んだ衣裳や道具の新調事業が実施され、土蜘蛛の衣裳や囃子方の鰐口(カネ)などが新調され装いが新たになりました。



嵯峨狂言堂での公開の様子



釈迦如来

Syakanryorai

ヤワラカモン



嵯峨狂言独自の演目で、コミカルな動きに注目！

坊主と寺侍はお釈迦様を本堂に据え守りをする。母親と娘がお釈迦様を拝みに来る。母親がお参りをすると、うれしそうに「ガッテン、ガッテン」と動く。娘がお参りすると、後ろを向いてしまう。坊主と寺侍は思案の末、母親に向きを変えてもらうように頼むが、お釈迦様と母親は肩を組み帰ってしまう。慌てた坊主は自分がお釈迦様になりすましてみるが・・・。



土蜘蛛

Tsuchigumo

カタモン



迫力ある太刀廻りと、圧巻の蜘蛛の巣撒きは必見！

頼光は、気分が優れず憂うつな面持ちで家来たちと酒宴を開くが、その場で寝てしまう。家来たちが控えの間に去ったところ、土蜘蛛があらわれ太刀廻りとなり、土蜘蛛を追い払う。家来たちが騒ぎを聞いて駆けつけると、頼光は家来たちに土蜘蛛退治を命ずる。家来の綱と保昌は無事に土蜘蛛退治が出来るのか・・・。

講演講師プロフィール

長谷川 奨悟 天理大学国際学部
日本学科(留学生対象) 専任講師
Shogo Hasegawa

1985年生まれ。学術博士。専門は人文地理学。三木市立みき歴史資料館、佛教大学宗教文化ミュージアムにて学芸員(無形文化財担当)として勤務。現在は、天理大学国際学部日本学科(留学生対象)専任講師。

専門分野の研究のほか、学芸員時代より地域祭礼や民俗芸能などの地域文化の継承や、過去の記録映像資料の活用に取り組み、『地域文化を継承する 今私たちにできること』(佛教大学宗教文化ミュージアム2023年)、『竹田聴洲が残した昭和の六斎念仏』(同、2022年)などの成果がある。



お問い合わせ

📍 京都市右京ふれあい文化会館
京都市右京区太秦安井西裏町11番地6
TEL:075(822)3349



アクセス

JR 山陰本線嵯峨野線 「花園駅」下車 南へ徒歩約5分

京都市営地下鉄東西線 「太秦天神川駅」下車 ①番出口から北へ徒歩約10分

市バス 27号系統・特27号系統「右京ふれあい文化会館前」下車
91号系統・93号系統「花園駅前」下車
8号系統・特8号系統・75号系統・85号系統「黒橋」下車

京福電鉄嵐山線 「嵐電天神川駅」下車 北へ徒歩約12分

